

令和3年度 決算報告

決算

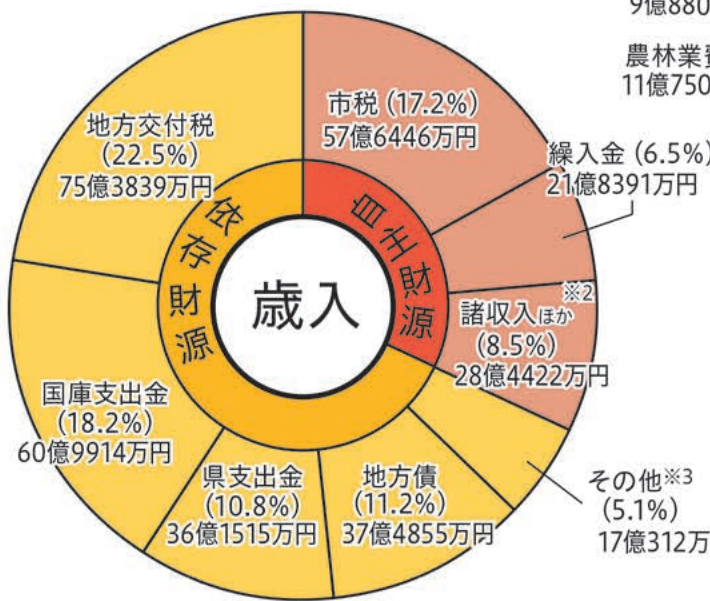
令和3年度の一般会計の決算規模は、歳入総額334億9694万円、歳出総額308億8728万円となり、歳入歳出ともに前年度を下回りました。

01 一般会計決算

一般会計とは、皆さんからの税金などを財源として、福祉、教育、まちづくりなど市の基本的な行政運営を行う会計です。

歳入総額 **334億9694万円**
(市民一人当たり約70万円)※1

自主財源・・・市が独自に徴収することができるお金
依存財源・・・国や県などから入ってくるお金

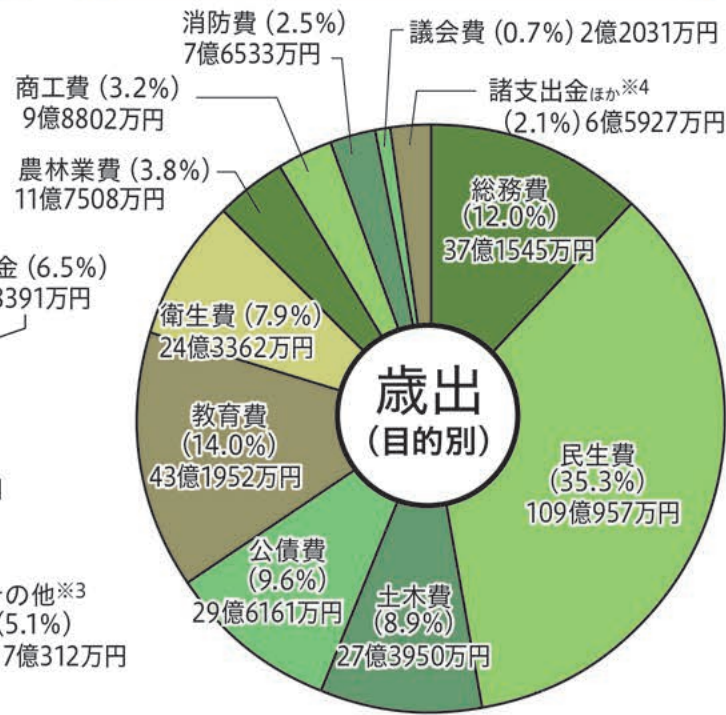


● 歳入の特徴

一般会計歳入総額は334億9694万円となり、前年度と比較して6億8266万円(△2.0%)の減となりました。令和3年8月11日から大雨による災害の発生により、地方交付税や県支出金等の依存財源が増加しました。

※1 市民一人当たりの金額は、令和4年1月1日現在の住民基本台帳人口48,151人で算出
※2 「諸収入ほか」は、諸収入、繰越金、寄附金、財産収入、分担金・負担金、使用料・手数料の合計
※3 「その他」は、地方譲与税と地方消費税交付金などの各種交付金の合計
※4 「諸支出金ほか」は、諸支出金、災害復旧費、労働費の合計

歳出総額 **308億8728万円**
(市民一人当たり約64万円)※1



● 歳出の特徴

一般会計歳出総額は308億8728万円となり、前年度と比較して24億3063万円(△7.3%)の減となりました。新型コロナウイルスワクチン接種にかかる費用や災害関連費用により、衛生費が増加しました。また新球場建設により、教育費も増加しました。

02 特別会計決算

特別会計とは、料金収入などにより特定の事業を行う場合に、経理を明確に区分するために設ける会計のことです。令和3年度は6つの特別会計を設けており、それぞれの決算額は右のようになりました。

会計区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	61億2865万円	60億4082万円	8783万円
後期高齢者医療保険	6億8053万円	6億7841万円	212万円
競輪事業	270億2092万円	264億2658万円	5億9434万円
給湯事業	1980万円	1686万円	294万円
新工業団地整備事業	4億7794万円	4億7788万円	6万円
国道34号用地先行取得事業	7632万円	7632万円	0万円

03 企業会計決算

企業会計とは、特定の事業を行う会計のうち、地方公営企業法の適用を受けて独立採算を行う会計で、武雄市には2つの会計があります。

区分	収入	支出	差引	
工業用水道事業	収益的	8046万円	7142万円	904万円
	資本的	1億2174万円	1億3799万円	△1625万円
下水道事業	収益的	14億2065万円	11億6827万円	2億5238万円
	資本的	6億1059万円	11億4948万円	△5億3889万円

2つの会計はともに赤字となっていますが、それぞれ貯金等で対応しています。

※収益的：営業活動によるもの
資本的：建設改良などによるもの

04 健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和3年度決算における「健全化判断比率」をお知らせします。この指標は、値が小さいほど財政が健全であることを示します。武雄市は、いずれの指標も基準内をキープしています。

指標	武雄市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.86	20.0
連結実質赤字比率	—	17.86	30.0
実質公債費比率	9.5	25.0	35.0
将来負担比率	18.1	350.0	基準なし

(単位：%)

▼実質赤字比率

一般会計等の赤字額の標準的な収入規模に対する割合です。武雄市は黒字でした。(県内全て黒字)

▼連結実質赤字比率

市の全会計(一般会計、特別会計及び企業会計)を合算した赤字額の標準的な収入規模に対する割合です。武雄市は黒字でした。(県内全て黒字)

▼実質公債費比率

一般会計等の借入金の返済額の標準的な収入規模に対する割合です。武雄市は9.5%で前年度より0.5%上昇しました。

▼将来負担比率

借入金の返済など将来支払うべき負債額の標準的な収入規模に対する割合です。武雄市は18.1%で、前年度より8.9%上昇しました。

令和4年度上半期 歳入歳出予算の執行状況

市では、財政状況の公表を年2回行っています。令和4年度上半期の財政状況(令和4年9月30日現在)は次のとおりです。

会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	320億7232万円	125億1211万円	121億9129万円
特別会計	319億6871万円	172億9460万円	165億2408万円

・特別会計…令和4年度は国民健康保険、後期高齢者医療、競輪事業、給湯事業、新工業団地整備事業、国道34号用地先行取得事業の6つ。

○一般会計の市債(借入金)の現在高

273億5973万円 ・市債…公共施設を整備するため等の借入金

令和4年度は新型コロナウイルス感染症対応予算及び物価高騰対策予算が増加しています。必要な対策を取りつつ、今後もより一層の経費削減と効率的な財政運営に努めます。